

降 水 量

(甲府地方気象台提供)

甲 府

降水量の推移 (mm)

年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間降水量	871.5	814.0	1078.5	1381.0	1040.0	1605.0	1100.0	1082.5	1310.0	1647.5	878.5	1005.5	1054.0	1219.0	1026.5	1208.5

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平年値(年)
年間降水量	1544.5	876.0	1100.0	1072.0	1146.0	1046.0	1135.2

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
毎月の値	93.5	54.0	66.5	75.5	231.5	210.5	63.5	62.5	81.5	22.5	17.0	67.5
平年値(月)	77.7	86.3	122.5	132.6	149.5	180.3	125.2	54.9	32.1	40.2	46.1	87.9

河口湖

降水量の推移 (mm)

年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間降水量	1282.5	1139.5	1444.5	1955.0	1560.0	1541.5	1796.0	1425.0	1726.0	2056.5	1253.5	1368.5	1365.5	1613.0	1528.0	1382.0

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平年値(年)
年間降水量	2082.0	1322.5	1582.5	1437.5	1672.0	1336.0	1568.1

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
毎月の値	109.0	96.0	97.5	58.5	270.5	257.5	60.5	125.0	104.5	34.5	40.0	82.5
平年値(月)	105.0	123.7	161.9	162.7	249.9	252.9	176.9	78.6	42.4	54.6	57.4	102.2

平年値(月・年)：統計期間(1981～2010, 30年間)

富士五湖の湖盆形態

湖名	水面海拔高度(m)	面積(km ²)	容積(百万m ³)	最大深度(m)	平均深度(m)	流域面積(km ²)
山中湖	980.5	6.78	63.92	13.3	9.4	65.5
河口湖	830.5	5.70	53.01	14.6	9.3	126.4
西湖	900.0	2.12	80.85	71.7	38.5	33.0
精進湖	900.0	0.50	3.50	15.2	7.0	25.8
本栖湖	900.0	4.70	319.13	121.6	67.9	34.5

用語及び凡例

1 BOD（生物化学的酸素要求量）

BODとは、Biochemical Oxygen Demand の略称であり、有機物汚濁の指標として用いられている。

溶存酸素量（DO）が十分な水中で有機物が好気性微生物により分解されるときに消費される酸素の量で表し、この数値が大きいほど河川水は汚れていることになる。

2 COD（化学的酸素要求量）

CODとは、Chemical Oxygen Demand の略称であり、湖沼及び海域における有機物等の汚濁の指標として用いられている。

水中の有機物等を酸化剤で酸化するとき消費される酸化剤の量を酸素の量に換算して表し、この数値が大きいほど湖沼及び海域の水は汚れていることになる。

3 pH（水素イオン指数）

pHとは、水素イオン濃度の逆数の常用対数で表され、水の酸性、アルカリ性の度合いを表す指標として用いられている。

pHが7のときが中性、それより大きいときがアルカリ性、小さいときが酸性となる。

4 SS（浮遊物質）

SSとは、水中に浮遊又は懸濁している粒子径2mm以下の不溶性物質の量のこと、この数値が大きい場合は、工場・事業場排水や生活排水の流入、降雨や河川改修工事等による土砂等の流入、プランクトンや藻類の増殖が原因であると考えられる。

5 DO（溶存酸素量）

DOとは、河川や湖沼の自浄作用、魚類等の生息に不可欠な水中に溶けている酸素の量のこと、その量は、水温や気圧などによっても影響されるが、有機物の流入により減少する。

6 大腸菌群数

大腸菌群数とは、大腸菌及び大腸菌と性質が似ている他の細菌がつくるコロニーの数で表し、し尿汚染の指標として用いられている。

7 ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾ - パラ - ジオキシン (P C D D s)、ポリ塩化ジベンゾフラン (P C D F s) 及びコプラナーポリ塩化ビフェニル (C o - P C B s) を「ダイオキシン類」という。ダイオキシン類は、条件により物の燃焼等の過程で非意図的に発生する。

ダイオキシン類には多くの種類があり、毒性の強さがそれぞれ異なっているため、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価する際は、毒性の強さを換算した毒性等量 (T E Q) を用いることとなっている。

8 「平均」とは、日間平均値の年間平均値であり、報告下限値未満の数値については、報告下限値の数値から平均値を算出した。

9 報告下限値未満の数値は、不等号又は N D で表示した。